

平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

公益社団法人とやま被害者支援センター

<p>1 相談事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減数(率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話相談</td> <td>248件</td> <td>220件</td> <td>357件</td> <td>+137件(+62.3%)</td> </tr> <tr> <td>面接相談</td> <td>17件</td> <td>27件</td> <td>28件</td> <td>+1件(+3.7%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>265件</td> <td>247件</td> <td>385件</td> <td>+138件(+55.9%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 月曜日～金曜日10:00～16:00(年末年始、祝日を除く。)</p> <p>1 無料法律相談等 相談は5件で、前年度に比べ3件増加した。臨床心理士等による心理相談はなかった。</p> <p>2 全国共通ナビダイヤル(4月1日運用開始) 県内からの利用(7:30～22:00)は5件で、当センターへの引継ぎ相談は無かった。</p>	区分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)	電話相談	248件	220件	357件	+137件(+62.3%)	面接相談	17件	27件	28件	+1件(+3.7%)	合計	265件	247件	385件	+138件(+55.9%)
区分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)																	
電話相談	248件	220件	357件	+137件(+62.3%)																	
面接相談	17件	27件	28件	+1件(+3.7%)																	
合計	265件	247件	385件	+138件(+55.9%)																	
<p>2 直接的支援事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減数(率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35回</td> <td>12回</td> <td>35回</td> <td>+23回(+191.7%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 付き添い(弁護士事務所、検察庁、裁判所、警察、病院等)、自宅訪問等</p> <p>犯罪被害者等早期援助団体として警察からの情報提供は、7件で前年度に比べ2件増えた。情報提供件数は、累計で28件となった。</p>	28年度	29年度	30年度	増減数(率)	35回	12回	35回	+23回(+191.7%)												
28年度	29年度	30年度	増減数(率)																		
35回	12回	35回	+23回(+191.7%)																		
<p>3 自助グループ支援事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減数(率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>11回</td> <td>10回</td> <td>7回</td> <td>-3回(-30.0%)</td> </tr> <tr> <td>延参加者数</td> <td>43人</td> <td>35人</td> <td>21人</td> <td>-14人(-40.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>年10回(5月・11月を除く)のうち7回開催、延べ21人が参加した。</p> <p>現在、自助グループは7名構成、月1～2名が参加。事務局員及び支援活動ボランティアが運営の支援等に当たった。</p>	分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)	実施回数	11回	10回	7回	-3回(-30.0%)	延参加者数	43人	35人	21人	-14人(-40.0%)					
分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)																	
実施回数	11回	10回	7回	-3回(-30.0%)																	
延参加者数	43人	35人	21人	-14人(-40.0%)																	
<p>4 広報啓発事業</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>増減数(率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報活動</td> <td>33回</td> <td>56回</td> <td>42回</td> <td>-14回(-25.0%)</td> </tr> <tr> <td>啓発活動</td> <td>35回</td> <td>39回</td> <td>28回</td> <td>-11回(-28.2%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>68回</td> <td>95回</td> <td>70回</td> <td>-25回(-26.3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 センターだよりの発行 ア 年3回(4月(27号)、8月(28号)、12月(29号))、各3,500部を発行 イ 正会員、賛助会員(団体、個人)、県犯罪被害者等支援協議会、市町村、学校等関係機関・団体に送付した。</p> <p>2 各種広報紙の作成(主なもの) ア リーフレット、チラシ ○ 奥田交番事件に伴う地域住民対象 リーフレット 2,000枚 ○ センター活動チラシ 6,000枚 イ ポスター等 ○ 「命の大切さを学ぶ教室」ポスター 200枚、チラシ 500枚</p>	区分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)	広報活動	33回	56回	42回	-14回(-25.0%)	啓発活動	35回	39回	28回	-11回(-28.2%)	計	68回	95回	70回	-25回(-26.3%)
区分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)																	
広報活動	33回	56回	42回	-14回(-25.0%)																	
啓発活動	35回	39回	28回	-11回(-28.2%)																	
計	68回	95回	70回	-25回(-26.3%)																	

○ 「講演会&コンサート」ポスター 500枚、チラシ 7,000枚

3 市町村巡回パネル展

巡回先	期間	延べ日数	アンケート回収
15市町村	8/20～1/25	80日	150件

主に庁舎ホール、4町村では前年度に続き次の施設で開催した。

- ・入善町：「コスモ21」（ショッピングセンター）
- ・舟橋村：「舟橋会館」（入浴施設あり）
- ・上市町：「つるぎふれあい館」（入浴施設あり）
- ・立山町：「元気交流ステーション」（地鉄五百石駅に併設）

4 広報啓発物品の作成・配布

- ア うちわ 1,500枚（警察音楽隊演奏会）
- イ 携帯カイロ 5,500個（週間行事、警察→地域住民）
- ウ 3ヶ月文字カレンダー 600冊（週間行事・法人賛助会員）
- エ ボールペン 5,000本（「命の大切さを学ぶ教室」受講者）

5 公共交通機関有料ラッピング広報

市内路面電車（側面）広告パネル 大・小各1枚（4～2月）

6 週間行事「講演会&コンサート」の開催

ア 日時・場所

12月1日（土）13:30～16:00（開場 13:00）

富山市牛島新町5-5（インテックビル・タワー111 3階「スカイホール」）

イ 主催：（公社）とやま被害者支援センター

後援：県、県警察、県犯罪被害者等支援協議会、（公財）県交通安全協会、
（公財）県防犯協会、富山市教育委員会

ウ 参加者数 230名

エ 内容（構成）

- ・開会挨拶（理事長）、来賓挨拶（警察本部警務部長）
- ・「命の大切さを学ぶ教室」作文コンクール表彰・最優秀作品朗読（最優秀作2点、優秀作5点、佳作3点）
- ・講演：講師 入江 杏氏（上智大学グリーンケア研究所 非常勤講師）
演題 「悲しみを生きる力に～被害者遺族からあなたへ」
- ・コンサート：富山市立芝園中学校吹奏楽研修部

7 「犯罪被害者週間」街頭広報

ア 日時・場所

11月26日（月）7:30～JR富山駅南口及び北口、資料1,500部配布

イ 参加機関・団体

県、県警察 県犯罪被害者等支援協議会構成機関・団体
学生ボランティア、富山市、当センター

8 ポスター等による広報

ア 広報パネル掲出：JR富山駅南地下通路

イ ポスター・チラシ送付：15市町村、関係機関・団体等

9 市町広報誌への広告掲載

- ・有料～年2回：高岡市
年1回：黒部市、滑川市、氷見市、南砺市、小矢部市、上市町
- ・無料～毎月：富山市、射水市

10 県内行事・会議等の活用

ア 関係機関・団体主催行事におけるチラシ等の配布

- ・8月5日（日）警察音楽隊定期演奏会（オーバード・ホール）
- ・10月10日（水）全国地域安全運動富山県民大会（県教育文化会館）
- ・11月15日（木）暴力追放富山県民大会（アイブック小杉文化ホール）

イ 各種キャンペーンにおけるチラシ等の配布

- ・4月20日：盗撮・ちかん防止キャンペーン（JR越中中川駅）

ウ 他機関・団体の研修会等における広報啓発

- ・10月9日 第6回人身安全関連事案対応意見交換会（警察本部）

- ・10月16日 民生委員対象「当センターの活動状況等」(保護観察所)
- ・2月20日 法テラス富山「DV被害者相談支援」研修(県民会館)

5 支援員の養成・支援スキルの向上

1 継続研修・事例検討会・養成講座等(部内)

区分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)
実施回数	23回	24回	22回	-2回(-8.3%)
受講者数(延)	186人	189人	154人	-35人(-18.5%)

※ 講師：大久保理事、全国ネットワーク・コーディネーター
臨床心理士、警察職員等に依頼

ア 継続研修(12回 70人参加)

6月19日、7月17日、9月18日、10月16日、12月10日～21日のうち6日、
1月15日、2月19日

イ 事例検討会(4回 32人参加)

7月6日、8月3日、9月7日、11月9日

ウ 採用時養成講座(4回 27人参加)

5月21日から同25日までのうち4日間(11時限、13時間)の講座に、新規採用の4人を含む支援活動ボランティア 延べ27人が参加。

エ その他(2回 25人参加)

事務局研修・意見交換会 4月27日、3月23日

2 外部研修(県内・県外)

分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)
参加回数	15回	27回	33回	+6回(+22.2%)
受講者数(延)	31人	113人	61人	-52人(-46.0%)

ア 県内研修(9回 17人参加)

- 富山市等「心の病気を考える」 7月1日 2名
- 法テラス「障害を力に変える」 8月22日 3名
「DV被害者相談支援」 2月20日 1名
- 県「セクハラ相談」 9月3日 2名、
「被害者等支援研修会」 2月22日 2名
- 県・ワンストップセンター「性暴力支援員養成講座」
11月18日 1名、11月25日 1名、12月16日 2名
- 女性センター「女性保護啓発研修」 11月27日 3名

イ 県外研修(24回 44人参加)

- (公社)全国被害者支援ネットワーク
 - ・ 東海・北陸ブロック「質の向上研修」(三重)
上半期：7月21～22日 2名、下半期：1月19日～20日 2名
 - ・ 新任事務局長研修 8月22日 1名(東京)
 - ・ 全国フォーラム2018・秋期全国研修(東京) 10月12日～14日
1日目 5名、2日目 8名、3日目 6名
- (公社)被害者支援都民センター(東京)
 - ・ 実地研修 6月11日～15日 1名、10月1日～5日 1名
- その他
 - ・ 少年犯罪被害者の会(W i L L)(大阪) 10月7日 1名
 - ・ 警察庁「交通事故被害者サポート事業・自助グループ運営研修」
(東京)
11月1日～2日 1名
 - ・ 警察庁「交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム」(仙台) 12月4日 1名
 - ・ 内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業研修」(金沢)
2月7日～8日 1名

6 財政基盤
の整備

1 賛助会

ア 賛助会員

(人)

区 分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)
団体(企業・法人)	222	236	232	-4(-6.3%)
個人(警察職員・一般・警察OB)	2,492	2,501	2,511	+10(+0.4%)
合 計	2,714	2,737	2,743	+6(+2.2%)

イ 賛助会費

(円)

区 分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)
団体(企業・法人)	2,555,000	2,910,000	3,025,000	+115,000
個人(警察職員・一般、警察OB)	5,375,000	5,318,000	5,304,000	-14,000
合 計	7,930,000	8,228,000	8,329,000	+101,000

・平成30年度予算額(6,800,000円)との対比では、1,529,000円の増

2 支援募金箱

(円)

区 分	28年度	29年度	30年度	増減数(率)
設置数	68個	68個	67個	-1個(-1.5%)
募金額	90,494	152,821	151,397	-1,424(-0.9%)

・設置数の1減は、朝日町

3 支援自動販売機

(円)

区 分	28年度	H29年度	H30年度	増減数(率)
設置数	43台	41台	43台	+2台(+4.9%)
金額	218,529	692,704	444,023	-248,681(-35.9%)

・団体賛助会員(1社)の支援により、新たに7台設置されたが、他で廃止等があり前年度比2台の増

4 寄付金

警察本部機動隊からチャリティバザーでの収益金24,100円の寄付(1月11日)を受けた。

5 ホンデリング活動

賛助会員や警察職員等から不要となった本535冊の寄贈を受け、その売却代金5,988円(振込手数料216円を除く)を寄付金として受け取った。

6 黄色いレシートキャンペーン

イオン高岡が行っている同キャンペーンにおいて、買物カード(13,600円相当)の寄贈(4月14日)を受け、同店で印刷用紙等を購入した。

<p>7 関係機関・団体との連携</p>	<p>1 県 犯罪被害者等支援協議会(5月28日 県民会館)</p> <p>2 県警察 ア 第6回人身安全関連事案対応に関する意見交換会(10月9日 警察本部) イ 「命の大切さを学ぶ教室」等の開催 ○ 命の大切さを学ぶ教室(聴講者数2,949人) ・ 高校 9校 2,798人 ・ 専門学校 1校 43人 ・ 小学校PTA 1団体 100人 ・ 富山刑務所 8人 ○ 命の大切さを学ぶミニ教室(「14歳の挑戦」でDVDを視聴) ・ 中学校 10校 36人 ○ 作文の募集及び表彰 ・ 本教室(ミニを含む)を受講した中学生・高校生から作文を募集。応募作文の中から優秀作品各5編を表彰した。 (最優秀作2点は、全国作文コンクールにおいて警察庁犯罪被害者支援室長賞を受賞) ウ 各地区(署)被害者支援ネットワーク総会 6月13日黒部市、11月6日南砺市、1月24日魚津市、富山市(幹事:富山北署)、2月25日砺波市の各総会に出席、当センターの活動報告、意見交換などにより連携を図った。 エ 警察学校「被害者支援専科生」の訪問(研修) 10月16日 専科生(警察官)19名 当センターの活動概況等を説明</p> <p>3 富山地方検察庁等との連絡会議 検察庁、保護観察所、法テラス、鑑別所等との定期連絡会議を開催(7月24日、9月25日、11月27日、1月22日、3月19日)し、当センターから延べ8人が出席し連携強化を図った。</p>
<p>8 人的基盤の充実確保と委託事業</p>	<p>県犯罪被害者等支援条例の施行(H29.4.1)に伴い、県(県警察)から直接支援員業務及び研修委託支援員業務で事務局職員2名(常勤、非常勤)の配置を受け、業務委託されており、引き続き業務委託事業の充実強化を図った。</p>
<p>9 理事会・総会の開催</p>	<p>1 理事会 ア 第1回理事会 5月31日(木) とやま自遊館 ・ 平成29年度事業報告(案)及び収支決算(案)の承認 ・ 理事の辞任及び理事候補者(案)の選出 ・ 平成30年度通常社員総会の招集(案)の決議 ・ 正会員(団体)の退会の承諾</p> <p>イ 第2回理事会(通常社員総会終了後) 6月21日(木) とやま自遊館 ・ 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告</p>

	<p>ウ 第3回理事会 2月15日(金) とやま自遊館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認 ・平成30年度臨時社員総会の招集(案)の決議 ・代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告 <p>2 社員総会</p> <p>ア 通常社員総会 6月21日(木) とやま自遊館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告及び収支決算(案)の議決 ・理事の辞任及び選任(案)の決議 <p>イ 臨時社員総会 3月11日(月) とやま自遊館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)の決議
10 視察	5月9日(水) 富山市議会議員 1名 業務視察